



金透坂



令和6年 10月 1日(火) 学校だよりNo.26 発行責任者 校長 嶋 忠夫

子どもたちの自己肯定感を高めるには・・・家庭教育学級実施!

9月25日に、PTA 教養部主催の第2回家庭教育学級が開かれました。今回は、ほし横塚クリニック院長の星 吾朗様を講師に、「自己肯定感を伸ばす親子関係の作り方」を演題に、ご講演をいただきました。

講演の中では、星先生が、中学、高校時代に夢中になっていたスケートボードの話など先生のご経験やエピソードを交えながら、先生自身の自己肯定感やお母様とのかかわりなどをわかりやすくお話いただきました。先生は、自己肯定感を伸ばすための親のかかわり方のポイントとして、「否定せずに見守ること」「応援すること」「その気持ちを言葉として伝えること」を大事にしていくことで、子どもは必ず気付いてくれる、だから、親の思いを口に出して伝え続けましょうとお話しされました。その後、参加いただいた保護者の皆様からたくさん質問が出され、大変有意義な時間となりました。



ご多用の中、講師をお引き受けいただき、示唆に富んだご講演をいただきました、星先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。また、大変勉強になる講座を企画いただきました高澤教養部長をはじめ、教養部の皆様に感謝申し上げます。

～ お知らせ ～

9月30日に、1年生の副担任として馬場純子先生が着任しました。若菜先生、宗形先生とともに、1年生の子どもたちの学習や生活を支援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



ちょっといい話・・・

秋の全国交通安全運動に伴って、9月24日から交通少年隊の活動を6年生が行っています。元気なあいさつとともに、登校する子どもたちが安全に道路を横断できるように活動しています。

26日、私は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇さんと一緒に、今泉駐車場の前で安全に横断できるように活動していました。1台のトラックが近づいてきた時に、セラフィーノさんに「あれは、みんなの牛乳を運んでくれているトラックだよ」と声をかけると、〇〇〇〇〇〇さんは、元気な声で、「おはようございます。いつもありがとうございます」と運転手さんに感謝の気持ちを伝えていました。元気なあいさつだけでなく、感謝の気持ちを素直に伝えることができる〇〇〇〇〇〇さんに感心しました。

様々な活動を、積極的に取り組んでいる6年生が確実に成長していること、とても嬉しく、とてもすてきな朝の出来事でした。

